

金ヶ崎高校応援歌

高橋 富雄 作詞

千葉 了道 作曲

一、若人の希望はもえて

みちのおく もなかの沃野

朝あけの 光は満てり

金ヶ崎高等学校

今ひらく 真理のとびら

よろこびの 歌たからかに

讃えん門出 ああ胸はなる

二、開拓の未来を呼ぶか

胆沢城 歴史のほまれ

跡しるく 千歳に伝う

金ヶ崎高等学校

あたらしく このとりで立つ

きのううけ きょう積みかさね

築かんあした ああ秋いたる

三、青雲の 西するを見よ

駒岳に 気は晴れわたり

鵬翼は あまがけりゆく

金ヶ崎高等学校

前進はわれらの誓い

ひとすじに 道つらぬかん

学成る日まで ああその日まで

第一応援歌

作曲 武智 素彦

一、東に清き 北上の

流れにもまれし 若駒の
命をかけて ひとすじに
健児の道は そそりたつ
高きのぞみをかなえんと
われらが金高 意気さかん

二、天は青く 澄みわたり

みのりの大き胆沢には
その名も知られし金高の
若い命が 今ここに
先駆とばかりにあふれんや
われらが母校金ケ崎

三、西に奥羽の やまなみを

いだきてめざめし その勇姿
駒形山の いただきの
夕陽を うけて燃えあがる
ああくれないの丘に立つ
われらが高校金ケ崎

第二応援歌

作詞 千葉 和恵

作曲 武智 素彦

一、ああ あかつきの 若き陽よ
白糸の丘にふりそそぎ
金高健児 意気高し
いざや進まん わが友よ

二、ああ みちのくの 若き日よ
金高の庭に みなぎりて
きたえし腕に わく闘志
いざや試さん わが友よ

第三応援歌

作詞 近藤 宇紘

- 一、今日も陽がのぼる おれたちが見えるかい
槍も鉄砲も おれたちにゃなんのその
それゆくぞ どんとこい それやっつける
おいら金高にゃ 敵がない敵がない
- 二、今日も月が出る おれたちが見えるかい
はるなつあきふゆ きたえた腕だぜ
それゆくぞ どんとこい それかっとばせ
おいら金高にゃ 負けはない負けはない
- 三、明日も陽がのぼる おれたちが見えるかい
こまがたおろしでさ みがいた腕だぜ
それゆくぞ どんとこい それぶつとばせ
おいら金高にゃ 勝てやせぬ 勝てやせぬ

燃えよ 金高

作詞 平 常光 補作 佐々木 徹
作曲 佐々木 徹

胆沢平野に身を委ね 心鍛え
我ら今こそ闘魂 胸に抱いて
勝利目指し 立ち上がれよ
燃えよ 燃えよ 金高健児

讃歌

作詞 齊藤 春吉

作曲 武智 素彦

一、朝日照る われらが空は
汚れなく 高き青空
たぎりたつ 若き血潮に
さんぜんと光る練磨ぞ
金高の旗行く所

二、北上の流れかたえに
駒ヶ峰が育てし夢は
みちのくに たぐいもあらず
たくましく強き われらぞ
金高の旗立つ所

三、大き理想 持てるわれらに
たち向かう ものあらばみな
打ちやぶり 打ち勝ちゆかん
鍛える 日頃のわざと
金高の旗行く所

逍遥歌

作詞 近藤 宇紘

作曲 近藤 正典

一、白きはなびら 散る野辺に
きみと あそびし 宴かな
あまきのぞみに 酔いしれて
きたかたの野にやすらぎぬ

二、明かき太白 駒ヶ峰に
かかる夜空を あおぐかな
えがきし夢の 森ふかし
もとめてひとり さまよいぬ

三、くろき枯葉のしく岸に
あてどなきまま たずぬれば
風のおとにも 応えなく
いだきしのぞみ うずもれぬ

四、青きシリウス 北上の
雲の流れに浮かぶとき
こおる心に ほのぼのと
春のいぶきのたちそめぬ